

## 広陵町幹部職員防災研修会 開催報告

- I 日時：平成31年2月1日（金）10時00分～11時50分
- II 場所：広陵町役場 3階 大会議室
- III 主催：広陵町
- IV 講師：NPO法人都市災害に備える技術者の会 顧問 向井通彦  
（陪席）NPO法人都市災害に備える技術者の会 理事長 伊藤東洋雄
- V 対象者：広陵町 幹部職員（町長～各課長） 計31名
- VI 講演会次第  
司会進行 秘書人事課長 藤井勝寛  
講演 10時00分～11時30分  
質疑応答 11時30分～11時50分
- VII 研修内容  
演題『行政・市民ぐるみで取り組む防災活動』
- 1 自己紹介
    - ・下水処理場建設に伴うISO14001取得(下水処理施設として全国初)
    - ・橋架け(中之島西部地区、心齋橋、天王寺バイパス他)
    - ・子供の権利条例制定(総合型・実践型として大阪府初)
    - ・りんくうタウンにイオンモール誘致
    - ・大阪府南部防災拠点誘致
    - ・カラオケCD発行(作詞・作曲・歌唱)
    - ・旭日中授章受賞 他
  - 2 泉南市地域防災計画
    - ・婦人会、女性消防団にも参画して戴く
  - 3 職員災害初動マニュアル(大阪府初)
    - ・避難所開設(職員に鍵を持たせる)
  - 4 防災用広報 MCA無線（双方向可）
  - 5 ため池対策 100カ所以上のため池対策
  - 6 建物の応急危険度判定 赤、黄、青紙で危険度表示
  - 7 自主防災組織マニュアル
  - 8 幼稚園廃園跡を利用した樽井地区防災拠点
  - 9 イオンモールとの防災協定
  - 10 市内商工業者との防災協定
  - 11 泉南市防災技術者の会の立ち上げ
  - 12 子供の権利条例
    - ・防災クイズ
    - ・防災フェア
  - 13 防災ファミリーフェスタ
  - 14 職員に対する対応
    - ・地元に住んでいる職員の減少
    - ・おはよう対話（月2回 1組30分 2組で8時～9時まで行う）
  - 15 第12回 防災フェアを今年も2月16日(土)行う。

## VIII 質疑応答

Q1 MCA 無線の聞こえにくい対策はどうしているか

A1 設置箇所数を増やす。音量を上げると近くの人から苦情が出る。しかし、災害時はフルパワーで流している。

また、聞き取りにくい場合は問い合わせをさせていただいている。

Q2 2月16日の防災フェアは住民も参加するのか。防災グッズの販売もあるか。

A2 住民誰でも参加できる。物品販売はしていないがα米などは配布している。

※家族連れで参加したいと考えている。

Q3 幼稚園を9園から2園にし、保育所を民営化したとのことであるが、職員組合などの反対はなかったか。

A3 増やすのは簡単だが減らすのは難しい。保護者や議会の理解を得るのが難しかった。

3年かかった。職員組合との話し合いを重ね理解を得た。

退職した職員もいたし、一般職への異動もした。また、民営化した園の職員にもなった。

職員も高齢化し体力的にしんどくなった人もいた。

Q4 泉南市と当町と防災協定を結びたいのでお伝え願いたい。

子供会議をしているということだが、まとまった例を披露して欲しい。

A4 協定の件は竹中市長に伝える。

子供会議は教育委員会主体で行っている。

例として、公園を作るとき子供の目線で作って欲しいと要望があった。

そこで遊具など提案して欲しいとお願いした。

また、子供が考える地区防災計画を実現したいと考えている。

以上



紹介を受ける向井通彦講師



講演をする向井通彦講師



研修を受ける幹部職員



質問をする幹部職員



質問をする幹部職員